

挑

戦



新たな一歩 共に創る未来へ



ものがたり通信

vol.18

- ・ 1年目の挑戦
- ・ 長岡フォーラム2026



教えて！先輩！！

1年生の挑戦とお悩み相談会

入社して4ヶ月。初めての仕事、初めての経験、初めてぶつかる壁——
たくさんの「初めて」と向き合いながら、1年生たちは日々奮闘しています。
今回は、これまでの挑戦と直面した壁について先輩に相談しました！

自走できる社会人になりたい...

ディレクターの仕事のうち、最近はお客さまとクリエイターの間に入り、円滑なやり取りをサポートする仕事に挑戦しています。先日、お客さまから動画の修正依頼を受けた際、指示の中に分からない点がありました。「クリエイターに伝える前に、まずは自分で完璧に理解しなきゃ！！」と焦って考え込んでいるうちに、あっという間に40分が経過…。結局、先輩に相談したところ一瞬で解決しました。

相手に相談や質問をするとき、「どこまで自分ひとりで考えるべきか」の境界線がわかりません。



2026年入社

M・H



2022年入社／プロデューサー

M・K

入社1年目のうちは、どこまで自分で考えて判断すればいいのかわからないのは当然です。最初から正しい判断をしようとしなくて大丈夫。まずは1分考えてみて、分からなければ早めに先輩へ相談してみましょう。仮説を持って壁打ちし、何度も検証を繰り返すことで、「ここまでは自分で考える」「ここからは相談する」という判断の基準が少しずつ身についていきます。質を求めるには、まず量をこなすことが大切だと思います！



2026年入社

R・S

魅せるSNSクリエイターになりたい...

「チエノワ」のInstagram運用に初挑戦しています！従業員や組織文化の「リアル」を届け、「チエノワで働いてみたい！」と思ってもらえる発信を目指して試行錯誤する毎日。周囲のサポートのおかげで自分なりの視点が育ってきたと感じる一方、「どうすればリアルな雰囲気伝えつつ、最後まで見てもらえる発信にできるのか」と壁にぶつかることもあります。

チエノワの魅力を届けるために、発信の視点や企画はどんな基準で決めるべきですか？

「そもそも何のためにInstagramに動画を投稿するか」という『目的』を明確にすることが重要です！届けたい相手が「どんな情報に触れたらチエノワに魅力を感じてくれるのか」。その目的が明確になれば、自ずと選ぶべき言葉や企画が見えてきます。チエノワのファンを増やすための「リアル」を、ぜひ追求してみてください！



2025年入社／ディレクター

E・N

ディレクターの右腕になりたい...

現場撮影ではディレクター（D）をサポートするアシスタントディレクター（AD）に挑戦しています。お客さまが安心して撮影や配信に臨めるよう、準備から当日のフォローまで幅広い業務に携わっています。ただ、Dからの指示通りに動くことしかできず、「自分にはもっと他にできることがあるのではないか」と悩む瞬間があります。

ADとして指示を待つだけでなく、一歩踏み込んでDをサポートするにはどうしたらいいですか？



2026年入社

S・Y

自分が「もしDだったらどう動くか？」を想像し、仕事を「自分ごと化」して臨むことが大切です！Dが全体を指揮する一方で、現場の細部にまで目を光らせてサポートするのがADの役割です。次の動きを予想して連絡する、先回りして資料や備品を手配する、現場の状況に応じて積極的に提案するなど自分から動けることは無限にあります。この「先回り気づかい」を積み重ねることで、社内外からの強い信頼が生まれ、チーム全体でより良い成果を生み出すことができます！

2024年入社／ディレクター

H・S



本記事を担当したM・Hです！

チエノワでは入社1年目のうちから撮影や配信、イベントなど多くの現場で実務を積むことができます。一方で早い時期からさまざまな経験をし、挑戦を重ねるからこそ悩みや葛藤もたくさんあります…。それでも何事にも前向きに取り組み、毎日楽しく過ごしているのは優しい先輩や上司が、細やかなフォローをしてくれているからだと思っています。これからもたくさん挑戦して、少しずつ「できること」を増やしていきたいです！

挑戦をつなぐ。 未来へ。

長岡フォーラム2026が始動！今年の挑戦は過去16回で初となる牧野家×徳川家の「殿対談」です。激動の歴史を乗り越えた「苦悩と決断」から、現代の課題を打開し未来を拓くどんな知恵が語られるのか!? 大反響による連続開催の舞台裏とともにお伝えします！

01

時を超えて受け継がれる精神

牧野家×徳川家！特別対談が実現

2026年10月22日(木)、新潟県長岡市で「長岡フォーラム2026」が開催されます！越後長岡藩主牧野家第17代当主 牧野 忠昌氏、水戸徳川家 第15代当主 徳川 斉正氏による対談は初の試みです。幕末や戦乱といった激動の時代を乗り越える中で生まれた「苦悩と決断」に迫ります。歴史から学ぶ知恵は、現代の悩みや葛藤を乗り越える大きなヒントとなるでしょう。



越後長岡藩主牧野家
第17代当主
牧野 忠昌氏



水戸徳川家
第15代当主
徳川 斉正氏

02

大反響により2年連続開催!!

新潟の地から新たに発掘される知恵

前回の「新潟フォーラム2025」で大変ご好評をいただき、多くの参加者から熱いオファーを頂戴しました。その結果、「長岡フォーラム2026」が始動しました。人手不足や市場の変化など、地域経済が直面する葛藤を乗り越えるため、新潟の長寿企業が一同に介します。

今回登壇していただく新潟の長寿企業は生活の基盤を支えるアクシアルリテリング様、有沢製作所様、植木組様の3社です！本フォーラムのテーマは、「ものづくり、ひとづくり、まちづくりによる持続発展の秘訣」と題し、「過去・現在・未来」の視点から、各社が試行錯誤の末に生み出した「生き残るための知恵」を語っていただきます！



長岡フォーラム2026登壇者の方々



▲ 詳細はこちらから！

03

前回フォーラムを終えて

100年企業が明かすリアルな経験

昨年開催した「新潟フォーラム2025」では、「長寿企業経営者の苦悩と決断」をテーマに100年以上続く長寿企業4社の経営者が登壇。社員や地域へ向けた感謝の大切さを語っていただきました。特に「人に感謝できるようになると良いところしか見えなくなり、自然と人脈も広がっていく。自分が広げた人脈を大切にしながら、次世代にもつなげていきたい」というお話に胸が熱くなりました！



新潟フォーラム2025登壇者の集合写真

参加者の声

- オーナー家と非創業家、それぞれの立場からの事業承継や経営戦略の生の声が聞け、自社の方向性を再確認できました！
- 登壇者の方々の深いお話はもちろん、テーマの組み立てやコーディネーターの方の進行の素晴らしさにも感動しました！
- 世界と比較して日本の長寿企業が多いという事実に驚き、そこから学ぶべき経営の姿勢があることを再認識しました！



このページを担当したR・Sです！

私は「長岡フォーラム2026」の運営に携わっています。地元である新潟県長岡市でこのフォーラムを開催できることが、本当に嬉しいです！「長岡フォーラム2026」をとおして街が一層活性化し、地元の長寿企業同士の新たなコラボレーションが生まれるよう、イベントを全力でやり切ります！